

## ●浜の話題

- 8月2日、腰越漁協及び鎌倉漁協所属漁業者は、(公財)相模湾水産振興事業団の支援を受けて、ヒラメ種苗を放流しました。当日は(公財)栽培漁業協会より購入したヒラメ種苗(平均76mm)1万尾(腰越)、5千尾(鎌倉)を、腰越では漁船で地先の5m以浅、鎌倉では1.2m以深の砂地の適地に放流しました。放流したヒラメは、海底に向かって元気よく泳いでいく様子を確認できました。



鎌倉地区のヒラメ種苗放流の様子

- 8月4日、(公財)県栽培漁業協会では、ヒラメの稚魚(全長約7cm 1万1千尾)を新安浦港内に放流しました。なお、放流したヒラメのうち1千尾については、標識として背びれの一部をカットしています。



新安浦港におけるヒラメ放流及び背びれをカットした放流種苗の様子

- 8月15日、当センターでは神奈川県漁連の「かながわ漁業就業促進センター」で漁業就業を目指す4名の研修生を対象とした講習を実施しました。当日は、各浜の漁業者の取組み活動や外部参入の若手漁業者の事例、栽培漁業や海況、漁労で必要となるロープワーク等について学びました。



かながわ漁業就業促進センターの研修生を対象とした講習の様子

- 県では今年度の青年漁業士申請者(4名)を対象に8月17日と23日に青年漁業士養成講座(漁業制度・技術コース)を開催しました。漁業制度コースでは県の水産施策、漁協の役割と金融制度、資源管理、漁業法と漁業権、県内の漁港、漁業士会の活動について、漁業技術コースでは海況情報、藻場と磯焼け対策、磯根資源の資源管理、最近の普及成果などについて講義があり、いずれも受講者は熱心に聴講していました。



青年漁業士養成講座（漁業制度コース）



（漁業技術コース）の様子

- 8月18日、小田原市漁協青年部は小田原新港蓄養水面において、アサリ養殖試験を開始しました。相模湾でのアサリ養殖の例はほとんどなく、全国的に漁獲量が少なくなっている中での成果に期待したいところです。
- 8月22日、横須賀市東部漁協の本所において、岩本氏（（株）リブルの代表取締役）を講師としてカキ養殖の勉強会を開催しました。当日は、横浜市漁協及びみうら漁協の漁業者総勢10名が参加し、主な内容としてはシングルシードを用いたカキの養殖方法について、講義を受けました。参加者のなかには、すでにカキ養殖を行っている方から、これから養殖を始めたい方まで、幅広い層の参加があり、講義後には熱心な質疑応答が行われました。



横須賀市東部漁協で開催されたカキ勉強会の様子

- 8月23日、横須賀市大楠漁協所属素潜り漁を営む若手漁業者は、磯焼け対策の一環で、素潜りでのウニ駆除を佐島の毛無島周辺で実施しました。島の周りの浅場にはムラサキウニが非常に多く分布し、少し離れた3m前後の海域には大型のガンガゼが多く、1人300~500個駆除しました。



素潜り漁を営む若手からベテランまで一丸となって取り組みました

- 8月25日、横須賀商工会議所でLFP（ローカルフードプロジェクト）研修会&ワークショップが開催され、生産者、加工業者、調味料関係の企業等が連携した未利用魚の有効活用について協議しました。当日は長井町漁協所属房竹丸さんより、タコかごに多く入るウツボや、春先のヒラメ網に多く掛かるアンコウの有効活用について提案があり、横須賀市東部漁協所属武丸さんと太子丸さんより刺網等に多くかかるサメやエイの有効活用について提案がありました。



生産者、加工業者、企業等の事業企画提案の様子

○ 9月1日、県水産課主催の就業希望者を対象とした漁業体験研修が真鶴町漁協自営定置で行われました。参加者は漁場に着くと網に入った魚が水揚げされていく様子を興味深そうに見学していました。当日は大きなカジキのほかに30kg前後主体のキハダが120本入る豊漁で、参加者にも出荷作業を体験してもらうことができました。その後、定置漁業者との意見交換や直売体験を行い、定置網漁業についての理解を深めていました。



網締め作業を見学する参加者



キハダの水揚げ作業の様子



直売体験の様子

○ 9月8日、小田原藻場再生活動組織は6月に設置したカジメ母藻礁のモニタリングを行いました。母藻礁の中には子嚢斑が形成されているものもあり、カジメ場回復に向け着実に前進していることを確認しました。



母藻礁の掃除をする様子



母藻礁のカジメの子嚢斑

## ● お知らせ

漁業者の燃油高騰や省エネ対策に係る助成事業「漁業物価高騰対応費補助金」の実施について、9月16日に水産課から各漁業協同組合など関係機関に案内されております。助成の内容は省エネ型エンジンの導入、漁船燃料費の一部を助成するものです。詳細は以下ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/gyogyoubukkakoutoutaiouhihojojigyoyou.html>

お問い合わせ先：県漁連指導部 045-773-8877、水産課水産企画班 045-210-4542



## 漁業物価高騰対応費補助金の御案内

燃油燃料価格高騰による漁業経営への影響を緩和するため、①漁業者の漁船用省エネ型エンジンの導入に係る経費や②漁船の燃料費の負担増に対する補助を行います。

**申請受付期間**  
**令和4年9月16日(金)～10月21日(金)・必着**  
 必ず申請期間内に提出してください。

### ① 漁業物価高騰対応機器導入費補助事業

- ✓ 省エネ型漁船エンジンの導入費用を補助します。  
 ※補助率：1/2以内（上限あり）
- ✓ 現在使用している漁船用エンジンと比べて、**5%以上燃油使用量を削減**できること等が条件です。

<申請の流れ（予定）>

| 時期      | 手続きの内容               |
|---------|----------------------|
| 令和4年9月  | ・ 交付申請受付開始           |
| 令和4年10月 | ・ 交付申請受付締切<br>・ 交付決定 |
| 令和5年3月  | ・ 実績報告書提出期限<br>・ 交付  |



### ② 漁船燃料費補助事業

- ✓ 漁船の燃料費増加分の補てんに要する経費の一部を補助します。※補助率：1/2以内
- ✓ 令和5年度に**漁業経営セーフティーネット構築事業**に加入することが条件です。

| 補助対象経費        | 補助額の算定式                       |
|---------------|-------------------------------|
| セーフティーネット加入者  | [補てん単価×購入数量]のうち自己負担分×1/2（補助率） |
| セーフティーネット未加入者 | 補てん単価×購入数量×1/2（補助率）           |

<申請の流れ（予定）>

| 時期      | 手続きの内容                                 |
|---------|----------------------------------------|
| 令和4年9月  | ・ 交付申請受付開始                             |
| 令和4年10月 | ・ 交付申請受付締切<br>・ 交付決定<br>・ 実施状況報告(上半期分) |
| 令和4年11月 | ・ 交付(1回目)(上半期分)                        |
| 令和5年1月  | ・ 実施状況報告(10～12月分)                      |
| 令和5年3月  | ・ 実績報告<br>・ 交付(2回目)(下半期分)              |



### ○申請先・問合せ先

- ✓ **沿海漁協等にご所属の皆さま**  
 神奈川県漁業協同組合連合会 指導部  
 ☎045-773-8877
- ✓ **上記以外の皆さま**  
 神奈川県 環境農政局 農水産部  
 水産課 水産企画グループ  
 ☎045-210-4542

詳細は県ホームページで  
ご確認ください！

漁業物価高騰対応費 検索



「漁業物価高騰対応費補助金」案内パンフレット